

戦争を許さない女たちのJR連絡会



# いのち輝く

私たちのピーストレイン

〒141 0031 東京都品川区西五反田3 2 13 JR総連内 ☎ 03 3491 7191 JR 057 4596

全国拡大代表者会議・学習会開く(東京・目黒)

## 心ひとつに女たちのピーストレイン

9月28日、東京・目黒さつき会館で全国拡大代表者会議・学習会“心ひとつに女たちのピーストレイン”を総勢80名で行いました。



今回は、参議院議員の今野東さんを迎え、現在、国会で焦点となっているテロ特別措置法の延長問題、テレビの弊害やコミュニケーションの大切さについて講演を受けました。

今野さんは9.11を契機として成立したテロ特別措置法について、「マスコミは220億円の給油活動のことばかり報じているが、日本を中心に1,300億円を投じて

成功を収めてきた武装解除のための平和的復興支援(DDR)のことはまるで取り上げない。農業が90%のアフガンでは、干ばつがひどくタリバン政権の傭兵に行くしかない状態だった。しかし平和的復興支援によって荒れた土地を回復し、人々が農業をやるために土地に戻ってきた。我々はこのような事業を行うために資金や人を出すべきで、インド洋にただのガソリンスタンドを浮かべて給油して人を殺しながら、一方で支援するというあり方はおかしい」と指摘しました。また、テレビによる弊害も指摘。「人はいくつになっても自分の話を聞いてもらいたいと思うもの。解決しなくとも子どもは話をきいて共感してもらえるだけで明日の活力となる」と家族とのコミュニケーションの大切さを語りました。

### 玉盛代表▶

この1年厳しい弾圧が続いている。労組の原点でもある団結・連帯の精神で、不当判決の本質をねばり強く訴えていきましょう。



### JR総連 小田委員長▶

JR東海会社の社内処分はJR東日本会社の美世志会への処分と運動している。全力を傾け、みんなで支える闘いを創り出していきたい。



### ◀美世志会 大淵慶彦さん

JR東海労の加藤さんが会社から解雇された。同じ処分を受けた者として怒りを持っている。

退職まで2年を前に会社からあまりにも理不尽な処分を受けた。15歳の春に国鉄に入り、乗務員の仕事をし、東労組の運動も担ってきた。国鉄改革の時にはいすゞ自動車への出向で厳しい体験もした。

第1審判決では、執行猶予付き有罪判決を受けたが、裁判所は検察が主張した2つの強要行為の1つを認定しなかった。つまり無罪であると判断した。控訴審でひっくりかえしていきたい。

### 大久保事務長▶

JR東海労の加藤さんへの不当処分に対し、美世志会への処分撤回の闘いとともに連帯していきたい。身近な人に理解してもらい声をかけて途切れなく抗議をしていこう。



◀JR東海会社から9月27日不当解雇処分を受けたJR東海労名古屋地方本部の加藤さんへ撤布を手渡しました。

### 浦和電車区分会家族会会長 菊地勝子さん

分会は、電車・仲間・家族が大好きな人ばかり。仲間を思いやる心を逆手にとって強要とされ、7名は逮捕された。あれから5年。完全無罪・職場復帰を願って一生懸命やってきた。美世志会家族は計り知れない不安と苦悩の日々を続けている。暗雲を払いのけ、明るく嬉しい涙が流れる日まで頑張っていく。



ひとりでは弱いけれど、みんなの力を合わせれば強くたくましくなれる

# 9条フェスタ2007

## えん罪をなくすために連帯を呼びかける



9月29日、東京大井町のきゅりあん（品川区立総合区民会館）にて、輝け9条！世界へ未来へフェスティバル2007が、78団体の参加で開催され、「戦争を許さない女たちのJR連絡会」も参加しました。

私たちはJR浦和電車区事件を通して、国家が個人の人権を踏みこむという事実を、目の当たりにしてきました。この怒りや悲しみを多くの市民の方々と共有し連帯の輪を広げるために、当日は美世志会とともに「えん罪・JR浦和電車区事件」のパネル展示の他、『人権の木』と題して多くのみなさんから人権に関するメッセージを書いていただき、展示しました。

女性らしい華やかな（派手な？）ブース展示が子どもたちの興味を惹きつけたのか、たくさん子どもたちが集まってきてくれました。子どもながらに一生懸命メッセージを書く姿を見て、この子たちのためにも明るい未来を創らなければと、決意を新たにしました。



カラフルな展示でえん罪を訴えました。

### 小さな手を ひろげよう



JR浦和電車区事件で係争中の被告に対し、会社は懲戒解雇処分を出しました。この不当処分の早期撤回を求めるハガキ行動に多くのみなさんが参加してくれました。



ブースでは、えん罪で闘っている「布川事件」や「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」の署名にも取り組みました。



オープニングを飾ったプランニューダンスマーケットのみなさん（写真上）と、みんなで歌って盛り上がったエンディング



子どもたちも人権の木へのメッセージを寄せてくれました。

## ありがとう！ 人権の木へのメッセージ

- \* 不当逮捕・不当判決・不当処分...。不当があたりまえの世の中を誰も望んではいません。
- \* 7名を有罪にしたこの日本、みんなでゼッタイに変えましょう。
- \* 言いたい事、正しい事が素直に言える世の中を！
- \* 真実はひとつ！戦争は嫌！差別最低！地球の人全員がわかりあえる世の中に...
- \* ミャンマー軍事政権による人民への血の弾圧を許さず、国際連帯を！
- \* 真実は隠すことはできません。たたかったものが勝ちです！ともにたたかいます。



- \* 人間が人間らしく「笑顔」で生きていける平和な世の中をつくるためにも「命」を軽くみる今の世の中にNOと声を出していきましょう！
- \* 人民に対する権力の弾圧は許さない！
- \* 日の丸・君が代根性やめさせて！「立って歌え、従わないとクビだぞ」やめてよ。これまで9条は日本の平和を守ってきた。これからは私たちが9条を守る番だ。
- \* 許せないことたくさんある！戦争・えん罪・偽装...。怒りを！
- \* Please Protect People's Rights
- \* へいわ へいわ

# 9条フェスタに参加して



8階大ホールの「あとむのお話コンサート」を見に行きましたが、おもしろかったです。昨年よりも親子連れが多かった気がします。各団体がそれぞれの企画で平和を訴えていました。一人では出来ないことでも、『平和を願う』という同じ目的を持った人達が集まり、行動すれば、大きな力になるんだあと改めて思いました。  
青空の会 K.A

長谷川テルのワークショップに参加して、テルの娘・長谷川暁子さんや坂井尚美弁護士から、テルの人柄や平和への強い意志を伺い胸が熱くなりました。この催しは、テルの研究をライフワークとされた故澤田和子さんが咲かせた花の一つ。テルと澤田さん。私も平和への強い意志を持って頑張らねばと思います。  
星砂の会 K.I

9条フェスタに参加して、あらためて戦争の恐ろしさを感じ、平和の大切さを考えさせられました。今回は、映画『汝 多くの戦友たち』をみました。生々しい映像に何度目も背けたか分かりません。こうした催しが、毎年行われ、一人でも平和について考える人が増えたらいいと思います。 おりづるの会(家族) N.J

「エンジェル」は「大人も感動できる絵本の読み聞かせ」を企画しました。聞きに来て下さる方に感動を与え、また、命の尊さ・仲間との絆の大切さを感じてもらいたく、心を込めて読みました。子供たちに明るい未来・豊かな心を育ててもらうために、絵本の素晴らしさを伝えることが出来ればと思います。大変でしたが充実感は素晴らしかったです。  
エンジェル T.M

初めての参加でしたが、想像していた以上に活気があり、9条や平和のことを大切に思っている人がたくさんいることが嬉しかったです。堅い話ばかりではなく、絵本やダンスといった形で、平和へのアプローチをしている所が受け入れやすかったです。各地でも行えばもっと9条の必要性が浸透すると思いました。私たちがアピールした「この木 なんの木 人権の木」を地域でもしっかりと根付かせるため頑張りたいと思います。  
ななかまどの会(家族) E.A

私は、あとむのお話コンサートを見学して、劇中の手話に感激しました。中でも印象的だったのは、4番目の話「人は何で生きるのか」でした。私は後悔のない人生を精一杯生きたい!と思いました。そのためには、平和であることが一番です。人が人として生きるために...。  
聚楽労組 N.S

## 憲法9条を守る会

9条フェスタでは「憲法9条を守り広める署名」に多くの人々が応じてくれ沢山の署名を集めることが出来ました。署名していただいた方々に感謝を申し上げます。  
憲法9条を守る会は、湾岸戦争で自衛隊の海外派兵が取り沙汰され、1991年に一人の主婦が「子や孫を二度と戦争で殺し合うようなことがあってはならない」という“母心”でつくった会です。それから16年。どこの会よりも老舗だと内心自負しつつ、悩みながら続けています。「継続は力なり」と言い聞かせて。  
川島睦子



## 「原爆の島」テニアンを訪ねて

8月3日から7日の日程で行われた三多摩9条連主催のテニアン平和研修に女たちの会のメンバー3名が参加しました。

テニアンは原爆機「エノラ・ゲイ」と「ボックスカー」が発進した基地のある島です。そして広島、長崎に原爆を投下し多くの人々を死に至らしめたのです。

植民地政策によって多くの日本人がこの島に住んでいましたが、



テニアンハイスクールの生徒たちとアニメ「はだしのゲン」を観て平和について語り合いました。

戦争中は日本軍司令部や警備隊が配置され、米軍の攻撃により島の人々とともに悲惨な最期をとげました。追いつめられて断崖絶壁から身を投げるなど沖縄の地上戦の場面を思わせるものがありました。再び戦争をおこすものへの怒りがこみ上げた旅でした。 M.K

## ありがとう 澤田和子さん

長谷川テルに魅せられ、平和活動を続けてこられた澤田和子さんが2007年7月23日に永眠されました。謹んでご冥福をお祈りします。



澤田さんが最後に執筆された本「長谷川テル」日中戦争下で反戦放送をした日本女性 せせらぎ出版社『長谷川テル』編集委員会編1,800円(税込)

### 「慰安婦」問題の解決に向けて ~大阪~

毎月第1水曜日午後7時、JR大阪駅前の歩道橋で水曜集会が始まります。「日本軍性奴隷問題の解決を求める会in大阪」の呼びかけで、在日と日本の複数の団体・個人が参加して、ピラをまき、マイクでアピールし、歌ったり、踊ったりして「慰安婦」問題の解決を訴えています。今年の世界同時行動日である8月8日にも約30人が参加しました。この行動は、2005年10月から始まり、私は3回目の12月から参加しています。60年以上も、加害者としての日本の戦争責任を問うことが出来ていない私たちの課題。そのために苦しい思いを抱える在日の方々の様々な問題を痛く感じながら、「慰安婦」問題解決のために同じ場所に立つことの意義を感じています。



皆さんの中には「ナムムの家」を訪問された方もあるでしょう。日本に証言に来られた被害者に会われた方もあるでしょう。名乗り出られた韓国の被害者で、現在の生存者はおよそ120人です。つまり私たちが会っているのはごく一部の方たちで、ほとんどの方は一人で、あるいは家族と暮らしていらっしゃる。韓国政府は生活支援金を出していますが、入院するとすぐに使ってしまう金額です。日本政府が一日も早く被害者の求めている人間としての尊厳を回復する公式謝罪、そしてそれに基づく補償をするよう、私たちは訴えています。

「日本軍性奴隷問題の解決を求める会in大阪」は昨年ソウルの水曜デモを主管しました。集会の司会からアピールなども自分たちで企画するのですが、土砂降りの中での集会でした。その場に立つことで、15年間こんな雨の日も雪の日も毎週休まず集会を続けてこられた被害者たちの闘いを実感する機会でもありました。被害者の声を聞き、そこに向かい合い、共に声をあげていくことが被害者の尊厳の回復につながっていくと思います。

7月に、アメリカ下院で日本政府に対する「慰安婦」非難決議が可決されました。カナダ、オーストラリア、フィリピンでも国会決議が提案され、被害者たちの声を無視する日本政府への怒りは世界に広がっています。

9条連ニュース7月号でも記載されましたが、韓国・挺対協が呼びかけて「戦争と女性人権博物館」建設のために募金運動をしています。日本の政治家などの意図的な歪曲発言を聞くと、被害者はどんなにか傷つけられることでしょうか。そして自分たちが勇気を出して名乗り出たのに、死んでしまったらその事実すら残せないと思うと、死んでも死にきれないと思います。私たちはこの歴史を負の遺産としてしっかり伝えていかなければなりません。



私たち自身が知り、子どもの世代に伝えていく「博物館」建設に協力したいと思います。皆さんもご協

力をよろしくお願いします。

(下記に募金振込先を記載しました。)

星砂の会 S.N

### 映画・在日朝鮮人「慰安婦」宋神道さんのたたかい ~ 試写報告

2007年8月25日、在日朝鮮人の「慰安婦」被害者として唯一、日本政府に謝罪を求め裁判を行った女性・宋神道(ソン・シンド)さんの記録映画「オレの心は負けてない」(安海龍監督)の完成上映会が東京・中野で行われました。

1993年から約10年の間、裁判をともに闘った「在日の慰安婦裁判を支える会」のメンバーとの山あり谷ありの交流を通して、絆を深めていく様子は胸が熱くなります。早口の東北弁で宋神道さん独特の言い回しに会場の笑いを誘うシーンがあり、重いテーマでありながら宋さんの逞しさを感じました。在日で「慰安婦」の名乗りを上げた方がいるということはこの映画で初めて知りましたが、ぜひ多くの方にこの映画を見てもらいたいと思いました。



近日、上映会を計画しています!!  
詳細は、女たちHPを参照下さい。

### 水曜デモ in Tokyo に参加しよう!!

毎月第3水曜日に国会前で11:30から1時間、「慰安婦」問題の立法解決を求める会の皆さんがサイレントデモを行っています。この水曜デモは1995年から10年以上続けているそうです。被害者のハルモニたちの高齢化も進み、一刻も早い問題解決を求めて活動されています。あなたも参加してみませんか?



## 真の日中友好と平和を育んできた中国平和研修

おりづるの会 JR東海労第10回中国平和研修(10.8~10.12)

今年の中国平和研修は全体で25名、おりづるの会からは5名が参加しました。今回は遼寧省・大石橋市・虎石溝万人坑の館長ご夫妻と、撫順では平頂山記念館の館長やスタッフの方との食事会を行い親睦を深めました。これまで積み重ねてきた研修で、ささやかながらも真の日中友好が築き上げられたことを実感しました。

9月27日にJR東海労名古屋地本・加藤業務部長が不当解雇処分を受け、処分撤回のたたかいの最中での訪中でした。平和のとりくみを推し進めることも権力による攻撃に抗するたたかいであることはいうまでもありません。今後も不当な弾圧を許さず、平和を守るために全国の仲間みなさんと奮闘していきます。



おりづるの会 Y.K

## 第4回ネイチャーフェスティバル



10月7日新鶴見操車場跡地で、第4回ネイチャーフェスティバルが秋晴れの下開催されました。これまでは5月のゴールデンウィークに開催されていましたが、今回初めて秋の開催となりました。会場では昨年と同じ7000名ほどの家族連れでにぎわいました。



ネイチャーフェスティバルとは、「森」がどんどん荒廃し地球温暖化が加速している中で、市

民やNPO法人、企業、行政が協働して、新鶴見操車場跡地に防災拠点となる「ふるさとの森」をつくり、川崎市民の水源の森を再生するために、木を使い、森を守ることを伝えるイベントです。

「戦争を許さない女たちのJR連絡会」は、毎年このイベントに参加しています。今回は昨年と同様にフランクフルトソーセージを販売しましたが、昨年は200本が「あっ」という間に売れ切れてしまったため、今年は数を増やして500本を用意しました。売り子の美声とおいしそうな焼き具合と薫りに誘われて、お昼過ぎには売り切れとなってしまいました。

その他ミニ電車に乗ったり、積木で遊んだり、木のおもちゃや雑貨の販売、お餅・ピザ・お弁当・飲み物の模擬店など、いろいろなイベントがあり楽しい一日となりました。

青空の会 M.C



### 南風洋子さん ご冥福をお祈りいたします

今年8月19日、劇団民藝の中心的存在であった南風洋子さんがお亡くなりになりました。南風さんは、病いと闘いながらも、人として、女優として最後まで舞台を通じ平和やいのちの尊さを伝え続け、平和への意思を貫かれました。

2005年9月、「戦争を許さない女たちのJR連絡会」全国集会において、南風さんは朗読劇「ヒロシマ・ナガサキ1945この子たちの夏」を上演してくださいました。自らも戦争を体験し、子どもたちに二度と悲惨な思いをさせてはならないという南風さんの思いは、私たちの心に今もしっかりと刻まれています。“いつか来た道”を歩もうとするこの時代への危機感を共有し、私たちは南風さんの平和への遺志と情熱を引きつぎ、歩んで参りたいと思います。心からご冥福をお祈りいたします。



沖縄戦教科書検定問題

## 政府は姑息な手段で沖縄の“心”を踏みにじるな



### 綴稿

9月29日、信条、世代、立場を超えて11万6,000人が結集し、「教科書検定意見撤回を求める

県民集会」が開催された。沖縄県民の実に10人に1人が参加したことになる。

私もこの大会に参加したが、会場は終始静かな怒りに満ちており、参加者全員が発言者へ耳を傾けるその姿には感動すら覚えた。

「歪曲を許してはならない」と62年間、公の場で語らなかつた重い体験を語ってくれた吉川さん。「手りゅう弾が配られなければ」「日本軍による軍命、強制、誘導がなければ、惨劇はなかつた」「事実は厳然とある」と言い切る。

読谷の高校生代表は「おじい、おばあが嘘をついている、思いがたいと言いたいのか!」「分厚い教科書のたった一文、たった一言の中に失われた尊い命がある」次

は集団自決そのものが消されると。2人は将来、教師をめざす。「嘘を真実と言わないで。私たちは真実を学び、伝えたい」と熱く訴えた。

678万9,736円、会場で集まったカンパ額も県民の“心”を現している。このカンパで10月15・16日に代表団が政府・関係箇所に検定意見撤回・記述回復などの大会総意を伝えることになった。

10月2日の東京新聞朝刊1面に『自決を強制』復活も』『沖縄の気持ち』政府配慮』との記事記載。「おお、沖縄の気持ちが通じたのか!」と思いきや、よく読むと文科相は「教科書会社から訂正申請があった場合は『真摯に対応したい』』というものである。何のことはない。政府は自らが歴史観も含めて表明するのではなく、教科書会社に訂正申請をやらせるのである。沖縄のたたかいのうねりの大きさに驚いて考えた姑息な「解決策」である。

このような「解決」を許してはならない。何故ならまたぞろ繰り返すからである。今回の問題は、歴史の改ざん・歪曲に関わるものであり、日本の未来の道しるべを決するものでもある。あいまいにすることなく、沖縄県民と共に、歴史の真実を明らかにしていこう!

エンジェル M.T

### 新テロ特措法に反対!

テロ特措法が11月に期限切れになります。代わって給油継続のための新法が取りざたされています。米補給艦への給油疑惑も出てきました。国連中心主義をめぐる議論もあります。でも、どのような場合でも、憲法の平和主義を貫けば「戦争の協力者にはなってはならない!」ということが大切なのではないのでしょうか。どんなきれいな事を言っても、こうした自衛隊の海外活動自体が違憲です。紛争解決は平和的手段で!

### 今ビルマで起きていることに目を向けて

ビルマでは、いま恐怖の弾圧が続いています。一挙に値上がった油の高騰で庶民の生活が困窮、僧侶自ら代弁者となって10万人以上のデモが始まりました。ジャーナリストの長井さんも犠牲になりました。軍事政権は、平和的にデモを行う民衆に銃を向け、逮捕された多くの僧侶・市民が拷問の犠牲になっています。本紙で前にも紹介しましたが、ビルマでは長い軍事政権の支配によって言論も民主主義も圧殺されています。人々は民主化を求め隣国タイや世界各地に亡命し活動しています。考えなければならないのは、「ミャンマー政府」を承認しODAで援助している日本政府の姿勢です。ODAは軍事政権の懐を肥やし、困窮する庶民をかえって苦しめています。日本に約1万人のビルマ人が居住し、この問題を訴えています。

民主化を求める人々への弾圧は他人ごとではありません。平和運動・労働運動への弾圧は私たちがまさに経験しているからです。JR浦和電車区事件、JR東海労への弾圧、企業の不正・横暴、そして労働運動の弱体化。真に民主主義を確立する闘い・連帯がいまこそ必要です。



9月27日ビルマ大使館前でICLSの抗議行動に参加

No to violence against women!

11月25日は国連・女性への暴力を根絶する日。ITF(国際運輸労連)でも取り組んでいます。この日は1960年国家権力の命令により惨殺されたドミニカ共和国の女性活動家を追悼し、暴力に反対する日として1981年から取り組まれています。